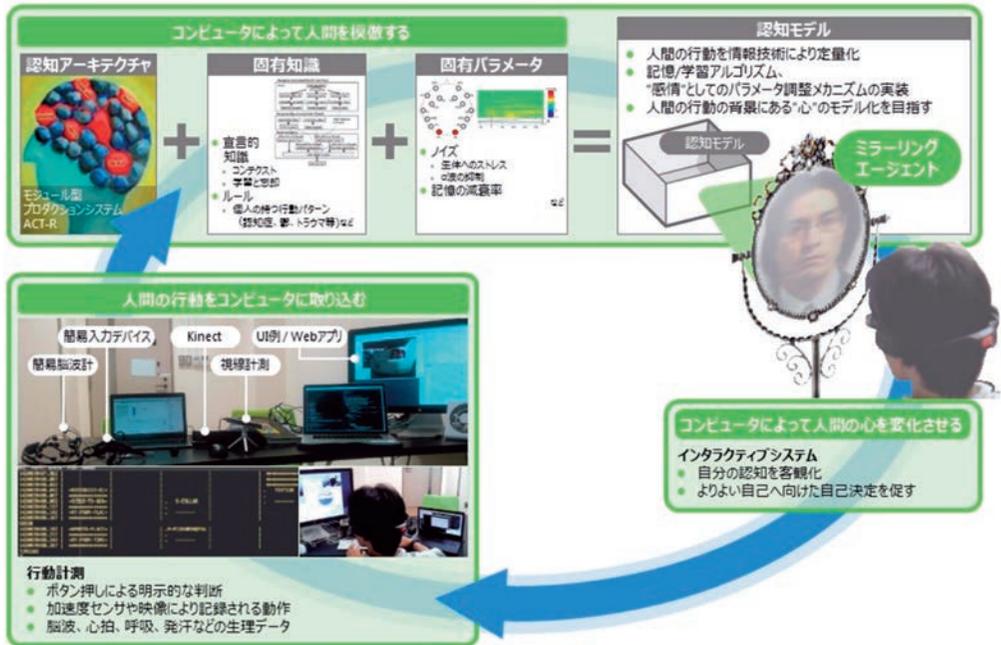


# 認知アーキテクチャを介した人間と機械のインタラクション

Keyword: 認知シミュレーション、生体センシング、ライフログ、インタラクション

情報技術と人間の心(知性と感情)を対象とした科学もしくは工学に取り組んでいます。認知科学、人工知能、情報処理心理学、ヒューマンコンピュータインタラクション、知的学習支援などの領域と関係しています。人間の行動を情報技術によって定量化し、人間の心をコンピュータのうえで外在化/モデル化する。そのことによってコンピュータを賢くすると同時に、人間を変容させることを目指します。



研究の概要

## ・特筆すべき研究ポイント:

1. 認知アーキテクチャと呼ばれる統合的な認知シミュレータ(人間の知覚・記憶・思考・感情を再現するプログラム)のプラットフォームを利用します
2. 生理データや行動データをリアルタイムに処理し、認知シミュレータのパラメータに入力します。
3. 上記2により各ユーザのモデルが認知アーキテクチャの上に構築され、ユーザのモデルに沿った刺激提示を行います。

## ・従来技術との差別化要素・優位性:

- ・ 上記1~3はそれぞれ別の研究分野で扱われることの多い技術です。私の研究の特徴は統合的な技術の利用によって、人間の内部状態に作用する情報サービスを開発することにあります。

## ・特許等出願状況:

刺激提示システム、刺激提示方法、コンピュータ、および制御方法 特願2016-146173

アピールポイント



森田 純哉

学院融合・グローバル領域  
准教授

## ■ 技術相談に応じられる関連分野

- 認知アーキテクチャを利用した認知シミュレーション
- 認知シミュレーションを活用したヒューマンインタフェースの開発と評価
- 人とコンピュータの相互作用における生理・行動データの分析と活用

## ■ その他の研究紹介

- ルールベースシステム用プログラミング言語の学習支援環境の構築
- 知的情報処理を利用したデザイン学習支援システム
- 思考に関わる言語データの自動分析手法の開発
- 身体運動からの感情推定